

# 安曇野民報ほりがね やすひこ うすい 泰彦通信



未だに高いレベルで感染がくすぶり続け、一向に先が見えない新型コロナ感染症。白井議員は一般質問で、科学的見地に立ったPCR検査の実施により、感染防止と社会・経済活動の両立を図るよう市が国に働きかけることなど、コロナ対応について質しました。

〔9月議会の概況は、日本共産党宇多畠野市議員団ニュースNo.49をご覧ください〕

# 科学的見地に立ったPCR検査で 感染防止と経済活動の両立を

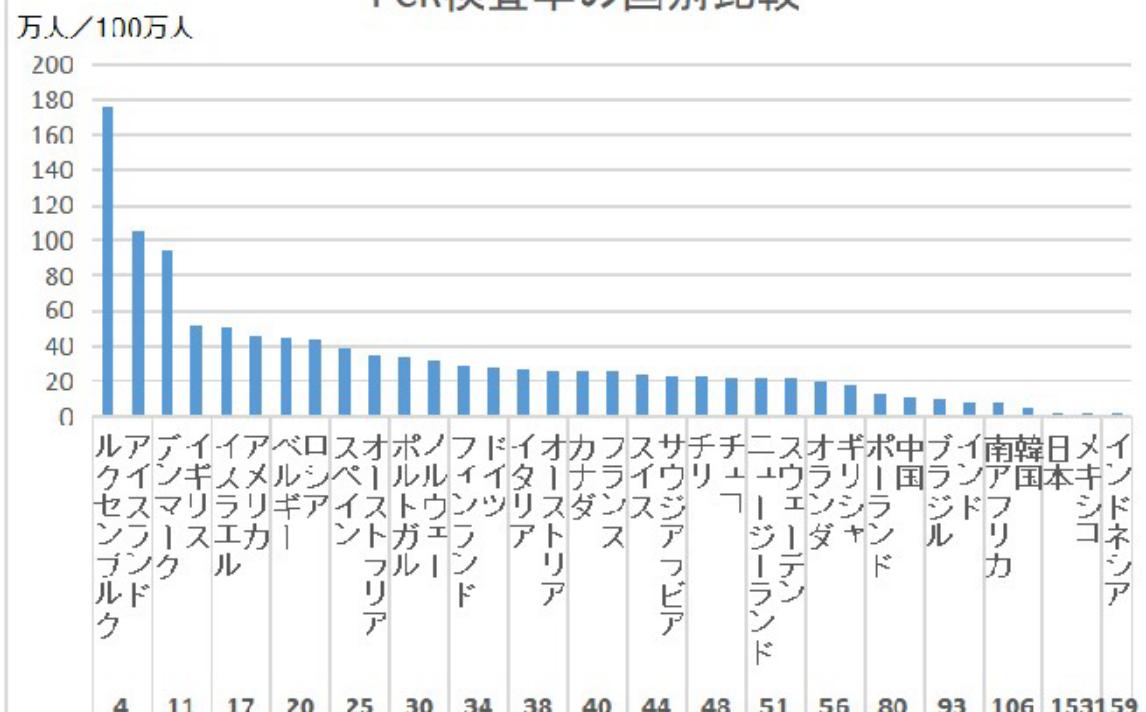
9月議會公報告

一般質問

感 染 震 源 地 を  
明 確 に し た 檢 査 を

①は、ワクチンの開発を待たなければならない。②は、国民みんなが3密を避け、マスク、手洗いを一生懸命やっている。③は、検査をして感染者を隔離し、治つてもらうことだ。③のPCR検査率、日本は世界で150番（台）の低さだ。日本は発症者とその濃厚接触者の検査に留まっているためだ。「感染震源地（感染者の4割の感染元と言わわれている無症状感染者が集まる中で、感染が持続的に集積している地域）を明確にして、その

## PCR検査率の国別比較



OECD36カ国とG20の内35カ国について、データのある198カ国のPCR検査率(100万人当たりの検査数)の順位(数字は、数字の上の2国の中の国の順位)。日本は21,878人で153位。(2020年11月5日現在Worldometerより作成)

地域の住民と事業所の在勤者の全体に対するPCR検査」(以下「検査A」)を実施し、感染者を隔離・保護し、感染拡大を抑

止すべきだ。アメリカの  
感染震源地といわれたニ  
ューヨーク州は、安曇野  
市の人団に近い10万人当  
たり延べ3万2500人  
に検査をしたという。ク  
オモ知事は「我々ができ  
る唯一のことば検査を行  
うことだ」と言つてゐる。  
政府の姿勢は、地方で  
(次頁へ)



## 政府も変化

厚労省は8月7日「地域の関係者の幅広い検査が可能」と通知。8月18日医師国会議員の会の要請に、加藤厚労相は「保健所、自治体の判断で、やつてもらいたい」と答えた。8月28日政府の対策本部が「感染者の多数発生地域やクラスターの発生地域では、地域の関係者の幅広い検査が可能」とし、都道府県に積極的な検査の実施を要請するとした。

## 専門家は“感染震源地への検査を”

7月16日参議院予算委員会で、東京大学先端科学技術研究センターがん・代謝プロジェクトリーダーの児玉龍彦氏は、感染震源地の制圧には1日20万人以上のPCR検査が必須だと主張した。7月30日東京都医師会が感染震源地への徹底検査を求めた。感染が拡大した那覇市では、8月初め市内有数の歓楽街松山地域で2000人超の大規模PCR検査を実施した。8月5日には日本医師会COV1D-19有識者会議が無症状の感染者を含む検査体制の確立が必要と提唱した。

実施された検査や専門家の声によつて変わつてきている。左枠「は：」（左枠「は：」）しかし国は、依然として自治体任せだ。市

として市長会を通して、全国市長会を通じて、また県とともに、検査Aの実施を国へ要望すべきではないか。

市長 今後、検査件数が拡大をしても、適当に検

## 医療、介護施設等への検査 各地で

厚労省は、8月18日医療・介護現場もしっかりと検査をするよう通知を出した。

9月4日町立国保軽井沢病院では、3人の入院患者がコロナに感染したので、200人の検査をするという。県内の幾つかの病院関係者が、感染リスクが高い場所との往来や人との接触がある患者を手術する際も検査するよう対象拡大を検討中とか、感染しても無症状の人が救命救急センターに搬送され、入院すれば院内感染のリスクがある。疑いのある人にランプ法



による検査をしているが、対象を大幅に広げるのは難しいと強い不安を訴える記事があった。

世田谷区では、医療・介護関係者への社会的検査を進め「誰でもいつでも何度も」を目指している。

千代田区でも、全介護施設の全職員にPCR検査を行うとしている。

## リスクの大きい施設に 対する定期的な検査を

臼井 感染の恐怖を抱え、風評被害、心身のストレスに直面して働く医療機関、介護施設、福祉施設、保育・幼児教育の現場、学校など社会的に欠かせない役割を担う施

設では、集団感染によるリスクが非常に大きい。その機関の勤務者、入院・入所者、出入り業者も含めて「齊に定期的な検査」（以下「検査B」）を実施して、施設の閉鎖

を実施するため、松本医療圏の現地の検査能力は、定期的な検査Bを行うために、検査体制のある在の検査能力は、定期的な検査Bを行って、検査Bによる陽性者を隔離・保護・治療するための体制の現状は。

①検査Bの必要性は、②定期的な検査Bをするために、松本医療圏の現地の検査能力は、定期的な検査Bを行って、検査Bによる陽性者を隔離・保護・治療するための体制の現状は。

検査が受けられるように、地域内で体制整備していきたい。（国へ要望すべき）の質問には答えなかつた

臼井 感染震源地から全国に広がる。そこを指定し、国が財政支援をしてこそ効果がある。しっかりと国に要望すべきだ。

①検査Bの必要性は、②定期的な検査Bをするために、松本医療圏の現地の検査能力は、定期的な検査Bを行って、検査Bによる陽性者を隔離・保護・治療するための体制の現状は。

地域では既に実施されている。体制整備を整えた。全員に公費で定期的な検査をすることは、現在困難だ。②③県が10の医療圏ごとに外来検査センターの体制整備中だ。国も検査を拡充すると言つてはいる。④350名程度の宿泊施設を確保した。⑤8月29日の国の方針を受けて県の新目標も示されると考える。市として県の動きを注視した





# 学校給食センター市民説明会 延べ200人が参加 堀金学校給食センターを残して！4センター維持を！

この10月、市内5か所で計6回給食センター市民説明会が開かれました。昨年5月の市民説明会での質問・意見を受けたものでしたが、市教育委員会は、昨年に続き多くの市民から出された「堀金給食センタ



ーを廃止せず自校給食の伝統・安曇野市の宝を守ってほしい」の声より経費節減を優先する姿勢に終始しました。

## 今年の説明会でも「堀金給食センターを残して」の声、声、声



堀金給食センターの  
〇〇をなくさないで！

〇給食職員との触れ合いがなくなるのは残念で悲しすぎる。子どもは栄養で育っているだけじゃない。〇堀金で調理員をしていて、子どもの顔が見れて楽しかった。豊科のセンターへ異動してから子どもの顔を1回も見なかつた。〇堀金では調理員が行事にも参加した。子どもは、お母さんが作ったものと同じような気持ちで食べていたのではないかと思う。〇農家の顔が見える本当の食育をしてきた。廃止してそういうことが残せるとは思えない。〇地産使用率は堀金給食センターが一番高い。農業者として他のセンターではできないと

思う。〇堀金は、子どもと調理場とが互いに生で顔が見え、日々やり取りができる、五感で感じることができ。失ったらとり返しがつかない。〇数字に表れない、子どもが給食で育つことを真剣に考えてほしい。〇血の通った交流は日ごろから顔を見てないとできない。

### 自校給食だから保護者は安心

〇諏訪市から堀金に来てがっかりした。諏訪市は全校自校方式で安心感がある。諏訪市長は「市民を減らさない。新しく呼び込む」と言って、お金はないが食べ物にお金をかけている。〇堀金に住むようになって、子ども

が給食を「おいしい」と言う。子どものアレルギーが治った。なくさないでほしい。

### 安曇野市の自慢に

〇市として「自校方式を一か所持っている」と自慢していい。〇給食で堀金移住を選んだ。市をPRするには、残すべきだ。〇夫が堀金が好きで、いい所と思って引っ越してきたが、こんな所とは思わなかつた。給食センターがなくなつたら、子どもに「ごめんね」となんで謝らなければいけないのか。おいしい水や空気だけでは子どもは育たない。子どもが外に出ても「戻ってきて」と言えない。〇子どもが増えるには、子どもに優しい地域づくりが大切。〇大切なものを残せる大人でありたい〇他市から来て、子どもにお金をかけない安曇野市に驚いている。



### 自校給食は地域が支えてきた伝統

〇建設設計画当時のPTAは、従来通り「自校給食がいい」とセンター化に反対したが、それでは合併後に自校給食が残せないと言われた。〇先輩から引き継いだ自校給食、歴史的教育文化、貴重な財産、宝物をぜひ残してほしい。〇堀金物産センターは、食材納入を無料奉仕でやってきた。〇堀金村は、教育にいくらお金がかかっても「いや」と言わなかつた。子どものことを考えて、本当に活かしてほしい。〇子どもの将来のために教育が第一である。考える順序が違う。教育予算は最後に削るべき。増額するくらいにすべき。〇自校給食は地域が支えてきた伝統だ



の高密植栽培木  
倒されたりんご  
木



上げま  
い申し  
お見舞  
農家に  
回り、  
を見て  
害状況  
らと被  
会議員

境の地域に突風と降ひょうがあり、高密矮性リンゴの木が倒され、ハウスがつぶされるなどの被害がありました。白井議員は、日本共産党的両角県



8月22日、堀金と三郷は、総務部長に手渡しました。求を提出来しまし予算要目項目のたる87市政全般にわ

### 市長に予算要求提出

日本共産党安曇野市議団は、11月6日、市長に對してコロナ対応など、市政全般にわ